

## 5 有収率向上対策

水資源の有効活用及び経費の削減を目的に、有収率向上対策として次の取り組みを行っている。

- (1)漏水調査による早期発見と即時修理
- (2)老朽管の布設替
- (3)配水ブロック、減圧弁による適正水圧の管理
- (4)配水管理システムのデータ解析による効率的な漏水調査

### 有収率の推移

(単位: %)

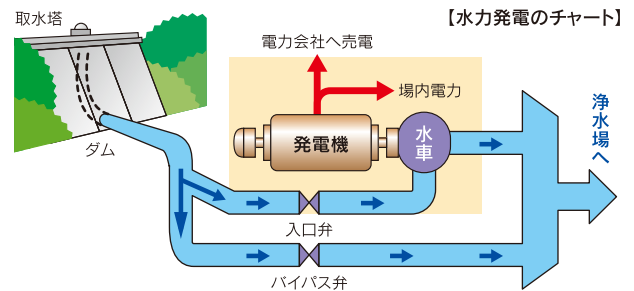
| 年度 | 19   | 20   | 21   | 22   | 23   | 24   | 25   | 26   | 27   | 28   | 29   |
|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 計画 | 88.1 | 88.2 | 88.2 | 88.3 | 88.2 | 88.4 | 88.6 | 90.2 | 90.5 | 90.8 | 91.1 |
| 実績 | 88.2 | 87.7 | 87.3 | 86.6 | 87.6 | 88.0 | 89.2 | 90.4 | 90.0 | 90.4 | —    |

## 6 中小水力及び太陽光発電所の建設

水道施設にて発生するクリーンな水力エネルギーの有効活用を図るため、ダム取水の落差等を利用した水力発電所を稼働している。

ます湊及び油木発電所、丸山小水力発電設備の発生電力は、余剰電力を電力会社に売電し、頓田発電所では本城浄水場内、穴生発電所では穴生浄水場内ですべて活用されている。

また、太陽光エネルギーを利用した太陽光発電所を建設し、新たなクリーンエネルギーの有効活用も図っている。



### 水力発電所

| 項 目             | ます湊発電所 | 油木発電所  | 頓田発電所   | 穴生発電所   | 丸山小水力発電設備 |
|-----------------|--------|--------|---------|---------|-----------|
| 最大出力[kW]        | 520    | 780    | 68      | 340     | 9         |
| 年間可能発生電力量[万kWh] | 214    | 335    | 36      | 132     | 6         |
| 稼働日             | 平成6年4月 | 平成8年4月 | 平成10年4月 | 平成19年4月 | 平成26年8月   |

### 太陽光発電所

| 項 目             | 藍島<br>太陽光発電設備 | 紫川<br>太陽光発電設備 | 大蔵・小嶺・日峰・二島<br>太陽光発電設備 | 笹尾・堀越<br>太陽光発電設備 | 丸山・永犬丸<br>太陽光発電設備 | 皿山・小熊野<br>太陽光発電設備 | 山ノ神第2<br>太陽光発電設備 | 畑第2<br>太陽光発電設備 |
|-----------------|---------------|---------------|------------------------|------------------|-------------------|-------------------|------------------|----------------|
| 最大出力[kW]        | 12.7          | 150           | 9.5                    | 9.7              | 9.5               | 20.3              | 21               | 31.5           |
| 年間可能発生電力量[万kWh] | 1.4           | 16.8          | 0.9                    | 0.9              | 0.9               | 2.0               | 2.0              | 2.9            |
| 稼働日             | 平成10年10月      | 平成11年4月       | 平成22年2月                | 平成23年2月          | 平成24年3月           | 平成25年10月          | 平成26年9月          | 平成26年9月        |

太陽光で発電した電力は自家消費し、余剰電力は電力会社に売電している。



藍島太陽光発電



紫川太陽光発電

## 7 財政状況

### 1 水道事業財政の概況

平成28年度は、平成28年4月に策定した「上下水道事業中期経営計画(H28～H32)」に基づき、着実に事業を実施するとともに、健全経営の維持にも努めた。

事業面では、「災害等の危機管理対策」、「経年化施設の長寿命化・更新」、「安全・安心でおいしい水の供給」、「環境負荷の低減」、「国内外に貢献する上下水道」について特に重点的

に取り組んだ。

また、新たな広域連携の推進にも取り組み、平成28年2月に締結した宗像地区事務組合との水道事業包括業務委託契約に基づき、本年度から宗像地区の水道施設の運転、維持管理及び料金徴収などを開始した。

財政面では、単年度資金収支は、2億8,322万円の黒字となり、累積では建設改良基金積立を含め79億294万円の資金剰余を確保し、引き続き安定経営を維持している。